

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2023.08.01

Vol.

14

August, 2023

第 14 号

隔月 1 日発行

しかま支え合い 情報誌



特集

終戦の年に 芽生えた決意

大病もせず、
家族にも恵まれた。
運がいい人生だと思う。



妻の恵美子さん（右）とニンニクの出荷作業をする剛さん（左）。

体さえ丈夫なら
農業はおもしろい

宮城県色麻町の袋地区にお住いの伊藤剛（たけし）さん（八十七）は、専業農家を営んでいます。お邪魔すると、ちょうどニンニクの出荷作業をしているところでした。剛さんは、令和三年度まで色麻町老人クラブ連合会の会長を務めていました。会長を辞めてからの様子を伺うと、「収穫やら出荷作業やらあるからね。忙しいよ」と、なかなか悠々自適とはいかないようです。「二人でやってるからね。大変なこともあるけど、体さえ丈夫なら農業はおもしろい」。

剛さんは中学を卒業してすぐに就農しました。実に七十年以上も農業に従事しています。そのきっかけは、七十八年前、十三歳年上のお兄さんの戦死だったと話します。

「終戦の年でした。海軍に配属された兄は、昭和二十年六月十八日に、北千島の阿頼度島で戦死したと、連絡が来ました。その夜、親父に『これから俺が頼りにするのはお前だ』と言われたんです」。その時のお父さんの一言で、剛さんの中に家督としての意識が芽生えました。同級生のみんなが進学を希望する中、剛さんは願書を出しませんでした。担任の先生からも説得されましたが、信念は曲げませんでした。「高校に行かないことに関しては、親父は何も言いませんでした。その時の私は、一日も早く一人前になりたいという気持ちでいっぱいだったんです」と話します。その甲斐あって、仕事を早くから身に付けることができ、親類の皆さんに支えられながらも、一家の大黒柱となりました。

一人前になりたい
その一心だった



この全部を夫婦2人で出荷作業。

長年やってきた手仕事。さすがの手際の良さ。



SDGs 目標 15

リンゴも栽培しています。



若い時こそ苦勞したが 恵まれた人生だと思う

剛さんは消防団員としても活動し、袋地区の区長も四期務めました。区長退任後は老人クラブ活動にも熱心に参加し、色麻町老人クラブ連合会の会長も務めました。

剛さんが会長を務めた時期は、ちょうどコロナ禍が始まった頃で、町の施設が使えなくなるなど、活動に厳しい制限が課せられた時期でした。「とても活動しにくい時期でした。私が会長の時に、活動の重点目標に『若者の結婚支援』を加えました。お茶のみしながら情報交換ができればと思ったのです

が、集まることも難しかったので、簡単ではなかったですね」と振り返ります。

剛さんは、十月十一日の誕生日にめでたく米寿を迎えます。「いろいろな役をやってきましたが、間違ったこともせず、人に恨まれることもなく終えられました。丈夫な奥さんとも一緒になって、子どももみんな結婚して、孫もひ孫もいます。大病もせず、運がよかったですと思います。若い時こそ苦勞しましたが、恵まれた人生だと思います」と、微笑んでいました。



SDGs 目標 11



60周年記念大会にて、表彰を受ける剛さん。



副会長時代、全国老人クラブ大会に参加した時の様子。

地域の活動情報をお寄せください！ 生活支援コーディネーターの菅原が伺います！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！
皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。
生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合

い情報誌にてご紹介させていただきます。
支え合い情報誌は、町内全戸配布の他、町外・県外の施設にも配布されます。
皆さんの地区の活動が、町内外の地域を活性化するヒントとなり、よりよい社会づくりに貢献していきます。ご協力よろしくお願いたします！

【連絡先】

TEL:0229-65-2260 FAX:0229-66-1713
E-mail:shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

EYE'S



社会を明るくする運動

三二集会 IN 吉田地区

令和五年七月十日（月）、吉田地区センターで、社会を明るくする運動三二集会が開かれました。この日は、保護司の方や清水駐在所の巡査においでいただき、お話を聞いた後、非行対策をテーマにした動画を鑑賞しました。
犯罪や非行に走ってしまった人が更正し社会復帰できるようにはどうあるべきか、皆さんで考えました。



しかま支え合い掲示板

かっぱクラブしかま 夏の活動の様子

今年度はコロナ禍の制限もなくなり、かっぱクラブしかまの活動も活発になってきました。

7月8日（土）は、宿長命会にて、七夕飾りづくりが行われました。長命会の女性部の皆さんが中心となり、立派な七夕飾りができました。

また、7月9日（日）、町農村環境改善センターにて教養講座が開催されました。今回はJKC公認訓練士の中川野乃香さんにおいでいただき、ドッグパフォーマンスを鑑賞した後、ペットの殺処分問題について勉強しました。



完成した七夕飾りと一緒に記念撮影。



講師の中川さんを囲んで記念撮影。

各地区のミニデイの様子

いよいよ夏本番となり、暑い日が続いておりますが、ミニデイも、各地区で開催されています。

7月7日（金）、大原地区のミニデイが行われました。この日は、大道派色麻教室の皆さんをお招きして、琴の演奏会が行われました。「荒城の月」や「茶摘み」など、聞きなじんだ曲が多く、皆さん演奏に合わせて口ずさんでいました。

7月10日（月）は、下黒沢地区でミニデイが行われました。下黒沢地区の集会所は建築中のため、この日は西福寺にて行われました。保健福祉課の管理栄養士による健康講話を聴いた後、みんなでもルックで遊びながら体を動かしました。



大原地区ミニデイ。琴の演奏会の様子。



下黒沢地区ミニデイ。西福寺で健康講話。

しかま支え合い情報誌 vol.14

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/287/

生活支援体制整備事業は、介護保険制度の地域支援事業の一つです。
しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。